

私らしい巣まいと暮らし

トリノス

to - reno - su



[Vol.30] 2017年 春・夏号

暮らしの豆知識 キッチンのつくりかた

巣づくりの現場から 第5回 -アイアン-



暮らしを、つなぐ。

Anest one

トリノスとは…?

名古屋でリノベーションを手掛ける株式会社アネストーンが

年に2回、春と秋に発行している季刊誌です。

アネストーン (Anestone) の名前の由来でもある「nest」は

日本語で「鳥の巣」、同時に「心地良い空間」という意味も持っています。

また「トリノス」の「リノ」はリノベーションの「リノ」。

「トリノス」では、「リノベーション」で手に入れた「心地良い空間」とともに

nest= 巣まいと、暮らしの情報をご紹介していきたいと思ます。

是非お手にとって、じっくりとご覧下さい。



目次

[特集①] 暮らしの豆知識	
キッチンづくりかた	02
[特集②] 巣づくりの現場から	
第5回 -アイアン-	05

私らしい「巣まい」のかたち

・SOBA(瀬戸市戸建S様邸)	07
・hauska(名古屋市名東区新築戸建)	11
・Calm(瀬戸市マンションY様邸)	15
・rotate(名古屋市緑区戸建Y様邸)	17
・Amity(名古屋市昭和区マンションF様邸)	19
・tsunagu ~ domani ~ (名古屋市西区戸建N様邸)	20

リノベーションの始め方	22
-------------	----



暮らしの豆知識 キッチンづくりかた



キッチンはどこまで自由にデザインできるのか。
今回は暮らしの中心であり、家づくりにおいて外すこと
のできない“キッチン”について取り上げます。



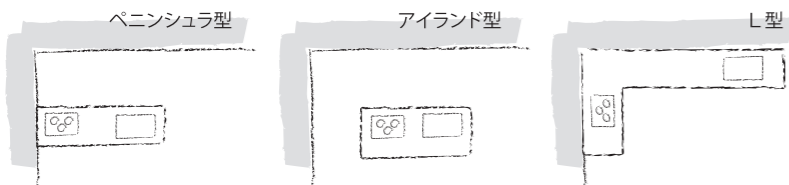
アネストワンの

Kitchen づくり

一日の中でも過ごす時間が長く、自然と周りに家族が集まる場所…。キッチンには、生活に切っても切り離せない場所だからこそ、居心地が良く機能的でなければなりません。
色・カタチ・大きさ・素材など、住みよいキッチンは家や人によって様々です。今回は、そんなアネストワンのキッチンづくりの一部をご紹介します。

UNEVENNESS

1. かたち



アイランド型の左右どちらかが壁に接しているものをペニンシュラ型といいます。その他I型・II型など様々な形のキッチンがありますが、大事なものは形ではなく、目的や人に合わせた動線です。幅や高さなども身長や所作で使いやすさが変わってくるので、それぞれ使用する人に合った形を選びましょう。また隣にパントリー収納を設けると、余計なものをしまえるので常時すっきりとしたキッチンの印象を保てます。

対面型キッチンは動線もスムーズ。背面の作業台は、下部を食器棚にして収納量も確保。リビングを見渡せるオープンキッチンにすると反対側からも使えて作業効率も上がります。



nola

2. そざい

使用する素材に限られてくる水まわりですが、アネストワンのキッチンによく使われる素材にはこんなものがあげられます。形や大きさ、素材選びから始められるオーダーキッチンを選ぶことでより幅が広がります。

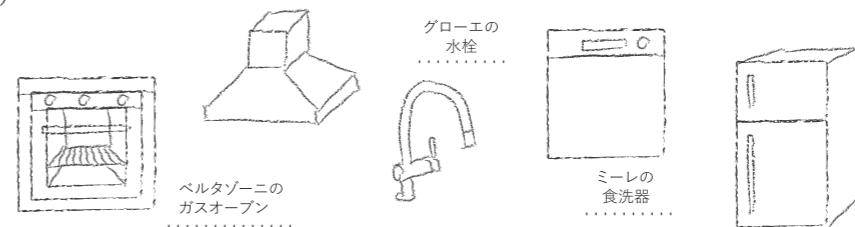


施工事例 左からCrop・Amity・UNEVENNESS・pente・トリノス

モールテックス(MOLTEx)って？

独特のテクスチャーが面白いベルギー生まれの左官材です。見た目はモルタルに似ていますが、クラック(ヒビ割れ)が入りにくく丈夫なのが特徴です。使用感も味になっていく、今注目の新しい素材です。

3. アイテム



造り付けのキッチンを彩る機器にも、たくさんの種類があります。価格から機能まで様々ですが、最近はデザイン性の高い輸入メーカーにも注目が集まっています。特に技術の進んでいるヨーロッパのメーカーは、ビルトインのガスオープンや食器洗浄機やIHなど、機能性の面でも人気が高いです。

まとめ

“毎日の暮らしをどんなものになりたいか”
そこからキッチンは構成されていきます。素材や機器はそんな暮らしをつくるためのツールに過ぎません。形・色・大きさ・肌ざわりまでこだわり、ずっと居たくなるようなキッチンの空間づくりをしてみてください。

キッチン特集特別インタビュー
『我が家のキッチン』は
事例紹介ページ (p.7~) へ！



築づくりの現場から



第5回
— アイアン —

アネストワンでは、階段の手すりや家具の取手や洗面のタオル掛けなど、お家のポイントとなる部にアイアンをよく取り入れています。無骨な鉄の質感や表情が、木や漆喰などの自然素材とも相性抜群です。今回は、その加工の方法や実際の施工例からアイアンの魅力に迫ります。

1 歴史



アイアンはヨーロッパの文化として発展してきました。ヨーロッパ中世時代に装飾性を兼ね備えた実用品として使われ始め、芸術、建築などの各分野にも発展していきました。一方日本では、6世紀前半に鍛鉄の技法が伝わりましたが建築装飾へ発展することはほとんどなく、手工業だったこともあり明治の初めに西洋建築に導入され国産化されてきたガラスやレンガやタイルなどには遅れをとりました。日本の建築や装飾物の分野におけるアイアンは最近やっと始まったばかりです。手仕事で仕上げた味のあるアイアン部材の魅力が、今徐々に広がってきています。

2 職人さんへインタビュー

Q1. アイアンの魅力はどんな所ですか？

硬いところ・冷たいところ・錆びるところ・柔らかくなる場所・暖かくなる場所・緊張感のあるところ…全部好きです。メリットデメリットを表現する事は難しいですが、アイアンは受け取る側次第で見え方が180度変わります。そんなところも好きですね。

Q2. 工程の中で気を付けていることは？

寸法や図面通りに仕上げることは勿論、自分がもう一人のクライアントとなり誠実で美しい製品・作品・製作であることを心がけています。

Q3. 仕事道具の中で無くてはならないものは？

道具はすべて大事ですが、一番古いものはアンビルという鉄を叩く台です。独立する時に色々なところに回ってようやく見つけた物で、私で13年使用していますが、恐らくその前の人もまたその前の人も何代にもわたって使われていた物だと思います。



アネストワンでずっとお世話になっている、アイアン職人の羽生さん。にこやかで温厚な面白い方ですが、仕事になれば一変、真剣な眼差しです。



アンビルは
重量125kg！！

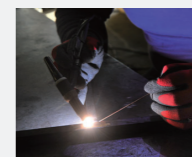
アイアン部材ができるまで

鍛造加工



コークス炉やバーナーにて鉄を1000℃～1500℃まで熱したら

赤くなったところをハンマーで叩き錠目を付けたり



アイアン同士を溶接したり

たとえば…



熱してから…



捻じる！

こういった加工によってパーツを作ったり、色々な形に成形したりします！ハンマーも重くとても暑い過酷な作業ですがこうして作られている部材がお家に使われているのかと思うとワクワクしますね！

3 アイアンのある暮らし

木の引出し扉にアイアンのハンドル
太めの棒なので握り心地も◎



トリノス



UNEVENNESS T様

オリジナルで造作したキッチンもアイアンで骨組みを製作既製品ではできない面白いデザインで存在感も抜群！

階段の手摺りをアイアンでオーダー丸棒のコロコとした感じが可愛らしい



hausta A様

窓やレースとマッチする絶妙な太さと表情のアイアンレール
トリノスでオーダー可能◎

オリジナルカーテンレール



私らしい「巢まい」のかたち

アネストワンで手掛けた、それぞれの「巢まい」をご紹介します

和室二間を取り壊し、広々と開放的なLDKに。日当たりのいい縁側で庭を近くに感じながらのお昼寝は最高に気持ちがいいでしょう。



A: 程よく囲まれたキッチンスペース。奥にはパントリースペースも設置され、キッチン廻りは整然としています。また、奥行のあるオリジナルのカウンター食器棚は配膳台としても大活躍。B: 栗の木でつくった座卓もオリジナルです。座卓を囲みながら、宴が始まります。



SOBA 戸建リノベーション / 瀬戸市 / S様邸

瀬戸市の閑静な住宅街の一角に佇む、築44年の木造平屋のリノベーション。耐震、断熱工事を施しながら、S様の暮らしに寄り添う住まいへと生まれ変わりました。日向ぼっこが気持ちいい縁側と、家族みんなが揃う広々としたLDK。和室に布団を敷き家族みんなで寝たり、作業部屋ではそれぞれの勉強をしたり作業をしたり。これからの家族のあり方を見据えて決めた個室をつくらない家は、S様家族の子育ての指針にもつながっています。杉の無垢フローリングや、ライトグレーの漆喰壁、オーダーキッチンなど自然の素材を使い、素朴でほっとする空間になりました。



S様ご家族の紹介

明るいS様ご夫婦、自然豊かなところで、子供達とのびのびと暮らすことがご希望でした。できれば昔ながらの場所で景観を変えずに住みたいと思い、街から田舎への引越を決意。子どもたちは虫と仲良くなり、みんなで蛇に驚いたり、自然を楽しむ暮らし方に変わってきています。



C

C:オリジナルのキッチン、ステンレス天板とラワン材の扉で素朴な雰囲気。引出しの取手もすべてオリジナルのデザインです。D:音楽が好きなご夫婦に欠かせないAVコーナーはリビングの一角に設置しました。E:S様がお持ちいらしたアンティークの下足入。このお家にぴったりです。



D



E

Before



自然の中でのびのびと子育てをしたいということで、広いお庭のある平屋の戸建を購入されました。縁側に木製の建具など、昭和の匂いのある風情ある建物です。



F



G

F:広い庭は、ご家族の第2のリビング。天気の良い日はお庭でのランチも楽しめます。G:他にしっかり収納スペースを確保しているからこそできる、シンプルな洗面スペース。

物件データ

所在地:瀬戸市
種別:戸建
延床面積:78.84㎡
建築年:1972年
施工期間:2.5ヶ月

S様に聞いた

我が家のキッチン

「永く使うものだからこそ、シンプルで普遍的に」

我が家のキッチンのここがすき!

オーダーで自分たちだけのキッチンという点が、やはりうれしいです。天然の素材がたくさん使っており、時が経っても味が出てくるものばかりなので、使い込むのが楽しみになります。オリジナルの真鍮のタオル掛けが気に入っています。

実際に採用して良かったところは?

リビングとキッチンが一体化してみる全体のデザインが気に入りました。かねてからの希望だったガスオーブンと浄水器は、料理が楽しくなるアイテムとして取り付けて正解でした。子供たちもオープンの前で出来上がりを楽しそうに待っています。お手伝いもよくしてくれるんですよ。



自然素材で囲まれた空間に、ノース・J・ウェグナーなどの北欧ヴィンテージ家具が良く似合います。

hauska

新築戸建
名古屋市長東区 / A様邸

「暮らしを、愉しむ」をコンセプトに、素材・デザイン・空間、ひとつひとつ大切に考えた新築の戸建てが出来ました。心地よい肌触りや経年変化を愉しむことができる無垢フローリング、漆喰の壁、真鍮のスイッチやハンドルは、使い込むことで家族の歴史が優しく刻まれてゆきます。リビングや書斎から階段につながる壁面いっぱいのオープン棚には、好きな小物・雑貨・絵・観葉植物を飾って、インテリアを愉しみます。またスキップフロアにすることにより、リビング・ダイニング・書斎とそれぞれの空間を保ちながら、家族の存在を感じる一体感のある空間を愉しむこともできます。永く愛着を持ちながら丁寧に、そして快適に心地よく、家族が幸せに愉しく暮らせる家づくりを実現しました。



A



B



C

A: 壁面のオープン棚はフィンランド合板で造作しました。ダイニング側はコーヒーカップやストウブ鍋などを並べ、見せる食器棚として。リビング部分は壁掛け大型テレビやステレオを配置し、植物や置物などインテリアとしての飾り棚に。壁面は深緑のスエード調塗料で味わい深い仕上がり。 B: リビングへの引き戸は幅1100mmと大きめにとり、より印象的に。 C: 下駄箱の壁面には手作りタイトルを。陶芸教室にて自分の好きな形に成型し、釉薬を塗り、電気釜で焼いてつくりました。色むらや形が不揃いな点も、何とも味があつてたまりません。



D:LDKはスキップフロアにして、空間に変化を。床は幅が広めのナラの無垢材で仕上げました。E:書斎の床と天井はナラの無垢材をヘリンボーン貼りに。インパクトは十分です。奥の壁面には階段室へとつながるランダムな大きさの収納・飾り棚を設置。一方の壁面だけモルタルの薄塗りで仕上げ、空間を自然に区切っています。



A様に聞いた

我が家のキッチン

「機器と素材、ひとつひとつにこだわりデザインする」

我が家のキッチンのここがすき！

LDKの中で、オーダーキッチンの存在は大きいと思います。キッチンもインテリアや家具の一部としてとらえ、配置や腰壁のデザイン等の見た目、素材にもひとつひとつこだわったのでとても満足しています。

実際に採用して良かったところは？

機器たちです。エレクトロラックスのガスレンジ・ベルタソーニのガスオープン・ミーレの食洗機・グロエの水栓…。ヨーロッパの機器はシンプルなデザインでとてもかっこよく使い勝手も良いです。キッチンがベニシユラ型でオープンなので両面から使えるのも便利です。引出しにつけたオリジナルの取手もまたスパイスが効いていて気に入っています。



F:階段の途中に書斎に抜けられるワーブゾーンを。動線がスムーズになり2Fへ行く際にここを通ることも多いとか。手摺りはオーダーで1本で仕上げられています。階段も無垢のナラ材を使用。



物件データ

 所在地:名古屋市名東区
 種別:新築戸建
 延床面積:144.13㎡
 施工期間:5ヶ月

anestone
 の
 新築

G:フィンランド合板を2枚重ねて造作し、オスモオイルで仕上げた書斎のカウンター机。モルタルの印象的な壁面ととてもマッチしています。
 H:洗面の壁面と天板はモルタルテクスで仕上げられています。扉にはオリジナルのアイアン取手を。





Y様ご家族の紹介

お料理やお菓子作りが好きな奥様と寡黙で優しい印象のご主人、3人の娘さんたちの5人暮らしです。引っ越し後に、お家のベランダから花火が見えることを知り、ご友人とワインを飲みながら楽しませているそうです。

物件データ

 所在地: 瀬戸市
 種別: マンション
 専有面積: 88.65㎡
 建築年: 2004年
 施工期間: 2.5ヶ月



Y様に聞いた

我が家のキッチン

「大事なのは過ごしやすさと利便性」

我が家のキッチンのここがすき！

大きな配膳台は、台所作業がスムーズに行えてとても便利です！配膳台の下の食器棚も、出してすぐ使うことができるので良い感じ。おかげでダイニングテーブルはいつもすっきりしています。

こだわったところは？

希望は広さと明るさと風通しと動きやすさでした。春や秋は、キッチンの北側の戸を開けたままで快適に過ごせます。夏涼しく冬暖かいので、台所仕事が楽しくなりました。

A: 玄関スペースには左手にオープン下足入、右手の扉はコートハンガーとアウトドア収納になっています。 B: LDKには一つの空間にたくさんの居場所ができました。キッチンには作業台とパントリーを設置し、キッチンまわりが散らからないよう工夫してあります。 C: コンパクトなりビングの奥は、夫婦の寝室へとつながっています。



Y様ご家族の紹介

サッカー観戦とお酒を飲むことが共通の趣味のお二人。それ以外にも登山、旅行、雑貨屋さんめぐりなど、外に出掛けることも好きなY様ご夫婦。お休みは外で過ごすことが多かったようですが、リノベーションをしてからは家でゆったり過ごせるので、ご友人を招待しての家飲みも増えたそうです。



A: 暗くなりがちな玄関は、窓を多く設けた明るいスペースに。 B: 日当たりの良いリビング。構造柱はルーバー材で囲い、ダイニングとの程よい仕切りに。 C: 広々としたLDK。センスの良い北欧の家具が空間に合っています。 D: 庭を臨めるキッチンスペース。木製の内窓をつけて、見た目も断熱性能もUP。



物件データ
所在地: 名古屋市緑区
種別: 戸建
延床面積: 112.20㎡
建築年: 1989年
施工期間: 2.5ヶ月



Y様に聞いた

我が家のキッチン

「リビングが見渡せるキッチンカウンター」

我が家のキッチンのここがすき!

“リビングやダイニングを眺めながらお料理をしたい!”という夢が叶ったところです。オーダーキッチンではありませんが、アンティークの取っ手やタオルハンガーをつけてもらい、個性を取り入れられた点も嬉しいです。

こだわったところは?

パントリーは絶対につけたいと思っていました。我が家はお酒をよく飲むので、その収納にも役立っています。オープンレンジやトースターが置いて、リビングダイニングから見えないというのも嬉しいです。



平成元年築の戸建てリノベーション。共働きしていらっしゃる若いご夫婦のライフスタイルに合わせた間取りへと1階部分を中心に一新しました。今後増えていく家族や、友人とお茶会などを考慮した広々としたLDKはパントリー、土間収納へのアプローチも抜群です。また通風や採光を考慮した、視覚的にも感覚的にも楽しいお気に入りの回転窓を数箇所設置したり勉強やパソコンが気兼ねなくできるワークスペース、程よい広さのあるお庭など、暮らしを楽しむお家へと変わりました。

物件データ

所在地:名古屋市昭和区
種別:マンション
専有面積:154.88㎡
建築年:2009年
施工期間:2ヶ月

F様ご家族の紹介

4人のお子さまと優しい雰囲気の方で夫婦。
家事の動線や自分たちの暮らし方に合った空間になったことで
そこで過ごす時間がより充実した感じがするとおっしゃっていました。
キッチンからお子さん達が遊んでるところを見るのも幸せな時間なんだとか。



A: オリジナルのキッチンと作業台。コミュニケーションがうまれるキッチンスペースです。B:壁一面のカウンター本棚には子供たちの絵本がずらり。C:広々とした玄関ホールは味のあるタイル貼り。建具も全てオリジナルで製作しています。

B



C

「家族とつながるオープンキッチン」

我が家のキッチンのここがすき！

もともと個室だったキッチンオープンフラットに。子供の様子を見ながら料理ができるので、どこにいても家族とつながっている感じがします。家事の動線も良くなり、主人もキッチンに立つようになりました。

F様に聞いた

我が家のキッチン

Amity

マンションリノベーション
名古屋市昭和区 / F様邸

築浅の広々としたマンションリノベーションです。

これまで壁に囲まれていたキッチンは、壁を取り払い、対面型にして、視界と奥行きが広がりました。

素材は漆喰壁をメインとして、アクセントでタイル壁や味のあるグリーン塗装壁に。居室すべてに無垢のナラフローリングを貼り、キッチン・ダイニングにはポイントでパーケットフローリングを貼ることで、広々とした空間にメリハリができました。オーダーキッチンをはじめ、造作家具、建具すべて木の素材を合わせることで優しい雰囲気が生まれました。

A



tsunagu~domani~

戸建リノベーション / 名古屋市西区 / N様邸

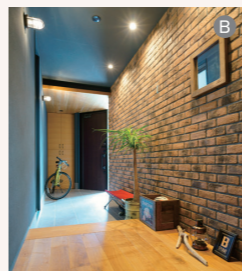
2階建 RC 造の事務所を、住宅としてリノベーションされたN様。施主の祖父から父へ、そしてN様ご本人へと「tsunagu」という想いが込められています。

プライベートな空間は全て1Fに設け、2Fには水廻りとLDKを配置しました。玄関ホールは、来た人がSHOPのような感覚で楽しめるようにアートウォールでお迎えします。機能的でありながら随所に遊び心のあるN様らしいお住まいに仕上がりました。

A:奥様の希望でキッチンはオープン型と独立型の中間的なスタイルに。普段は壁の中に収納されている引込戸を閉めれば、来客時でも手元を隠せる仕組みです。B:お客様が最初に目にする玄関ホールは壁紙の色、ブリックタイルや照明の配置にもこだわりました。



A



B

N様に聞いた

我が家のキッチン

「統一感を重視したカフェやバーのような雰囲気」

我が家のキッチンのここがすき！

壁付きの棚や天井からの吊り棚など、自分の好きなアイテムを並べて楽しめるデザインが気に入っています。反対側に同じ高さの作業台を設置したことでキッチンスペースが広くなり、家族で料理を作ることも増えました！

N様ご家族の紹介

家族全員キャンプが好きでアウトドア派なN様ご家族。リビングで、屋上で、バルコニーで、外とつながる空間で、家族と食事するのが幸せを感じる瞬間だとおっしゃっていました。外出や外食が減り、代わりにご友人やご家族を家に招くことが増えたそうです。

物件データ

所在地:名古屋市西区
種別:戸建
専有面積:191.73㎡
建築年:1981年
施工期間:2ヶ月





暮らしを、つなぐ。

Anestone

株式会社アネストーン[アネストーン一級建築士事務所]

〒465-0018 名古屋市名東区八前2-713 電話.052-777-2441 FAX.052-777-2647
mail@anestone.com <http://www.anestone.com/>  建物正面に3台駐車できます

- リノベーション・デザインリフォームの設計・施工[マンション・戸建・店舗・オフィス]
- オリジナルキッチン・家具のデザイン・製作 ■注文住宅 設計・施工

お問い合わせは右記フリーダイヤルまで
9:00 ~ 18:00 定休日:日曜・祝日

 0120-65-2441

アネストワンの施工エリアは原則として、オフィスから車で30分圏内とさせて頂いております。お客様と未永いお付き合いとアフターメンテナンスを行っていく為にも、エリアを限定しております。色々なケースがありますのでエリア近郊の方はお問い合わせ下さいませよろしくお願い致します。(詳しくはアネストワンのホームページ『施工エリア』をご覧ください。)



※アネストーンへご来店の際は
事前に日時のご予約をお願いいたします。

公共交通機関ご利用の場合…
地下鉄東山線一社駅下車。
市バス3番のりば発、猪子石中学下車。
猪子石中学東の交差点を東に徒歩約5分。